

水の文化 都市公園



ミツカン水の文化センター

表紙上：東京・日比谷公園の芝生は柵で守られている。日本で芝生を完璧な状態に維持するのは容易ではない。日本中の公園で立ち入り禁止の芝生スペースを目にするのは、メンテナンスの大変さゆえだ。それでも、芝生がいいと思う気持ちはどこからくるのだろうか。

表紙下：東京の武蔵野公園の「水遊びの池」。強い日差しで温められた水が、足に、身体に「夏」を感じさせる。裏表紙上：神田川の上流である善福寺川の源、善福寺池。砂浴びをするために、温まった砂地に鳩が集まっていた。水がある公園には、生き物の豊かな暮らしが営まれている。

裏表紙下左：京都下賀茂神社の糺（ただす）の森では発掘調査が行なわれ、古い流れを復活し、保存、まるで人の手が加えられていないかのような自然を演出している。訪れる人みんながこの景観のつくり手と同じ気持ちになれば、この環境を維持することはたやすいだろう。メンテナンスに参加するのは、その気持ちを持つための一番早い手がかりかもしれない。

右：武蔵野公園は多摩川の支流、野川に隣接している。東京本来の自然の姿は亜熱帯ジャングルなのだ。



- 白幡洋三郎「利用者がつくる都市公園」
- 伊藤幸男「公園は育てるもの」
- 石川幹子「都市に水と緑の回廊をつくる」
- 水の文化楽習実践取材
「都市公園の常識を変革するワークショップ」
- 上田 篤「小自然から中自然へ」
- 鳥越けい子「五感で味わう公園」
- 木下 勇「遊びと公園のエコロジー」
- ヨネスケ「全国の晩ご飯を見た」
- 編集部「都市公園」
- 古賀邦雄 水の文化書誌「親水と公園」

水の文化 October 2006 No. **24**

水の文化
2006
24

